

※開催概要について

この資料は、勉強会の議論の状況を迅速に伝えるために、ファシリテーターがグループ討議の概要を発表した内容をまとめて整理したものです。個別の意見を示したものではありませんことをご了承ください。

沼津高架PIプロジェクト

原地区第2回勉強会

開催概要

3月9日（土）、原地区にて第2回勉強会が開催されました。前回と同様に鉄道高架化や貨物駅の移転問題に関心のある団体等から推薦頂いた13名に加え、今回より原地区コミュニティ推進委員会から3名が参加して活発な議論が交わされました。

冒頭、第1回勉強会で配布の要望のあった統計データについて、説明がありました。続いてグループ別に議論が行われ、前半では広域に関するテーマについて、後半では原地区の地域づくりの目標と戦略課題について話し合いが行われました。

広域に関するテーマのうち、東部地域の拠点形成についての議論では、沼津だけで拠点が形成できるわけではないのではないか、沼津と周辺都市がそれぞれの特徴を活かして連携する発想が必要ではないか、といった意見が出されました。広域における「交流」については、スマートインターチェンジの整備を契機として、地元の特産品販売に関わる物流拠点を整備して雇用創出や活性化を期待する意見や、物流だけでなく人の交流拠点という視点が重要といった意見が出されました。「防災」に関しては、復旧や復興に備え鉄道と道路の両方につながっていることが必要であることや、避難路としての道路網を考えておくことなどが提案されました。地域づくりの「財政と事業効果」については、今後税収が減少する可能性や長期的な費用対効果を考えて投資すべきという意見、また、子育て世代が住み続けられるかという視点が重要といった意見が出されました。「進め方」についての議論では、まちづくりなど計画の検討では地元意見を反映してほしいことや、県と市の連携をきちんとしてほしいといった意見が出されました。

後半での地域づくりの目標と戦略課題に関する議論では、原東部地区と原西部地区では状況や課題が大きく異なり、それぞれに適した戦略が必要であることや、開発されていない原西部地区についてはしっかりと構想していくことが必要との意見が出されました。基盤づくりにおいては、治水対策が最優先課題であり早期の対策が必要との意見や、東駿河湾環状道路の整備に伴う交通量への対処は、広域的に解決する必要があるとの意見が出されました。交通面では自動車の視点到偏らないで原駅を玄関口とした考え方も必要との認識も示されました。また、賑わいを生む戦略として、観光だけでなく健康・福祉の面からも来街者を集めたいといった意見が出されました。なお、今回の整理のように、戦略的に考えていくことが重要との指摘がありました。

最後に、全体ファシリテーターより参加者へ問いかけがあり、原地区の地域づくりの目標は概ね共通認識となった事が確認されました。

次回（4月20日（土））は、ステップ3に移り、より具体的な内容について検討を行う予定です。